

き
揮

興祖微妙大師
650年遠諱記念

さい
灑

—近世妙心寺の禪匠—

2026年
4月6日(月)—8月2日(日)

[1期] 4月6日(月)—5月9日(土)
[2期] 5月11日(月)—6月20日(土)
[3期] 6月22日(月)—8月2日(日)

※会期中、大幅な作品の展示替を行います。

開館時間＝10時—16時

休館日＝日曜日(但し、8月2日および

オープンキャンパス実施日は開館)、祝日、4月11日(土)

※大学行事により臨時休館する場合があります。

入館料＝無料

主催＝花園大学歴史博物館、臨済宗妙心寺派

蓮池観音図 白隠慧鶴自画賛

江戸時代・宝暦2年(1752) 龍澤寺(静岡県三島市)【1期】

Teachings in Ink
Myoshin-ji Zen Masters of the Early Modern Period

花園大学
歴史博物館

[無聖館4階]

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1

tel. 075-811-5181(代) fax. 075-811-9664

<https://www.hanazono.ac.jp>





1

興祖微妙大師650年遠諱記念

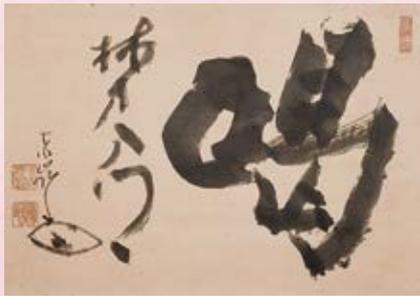
揮灑

—近世妙心寺の禅匠—

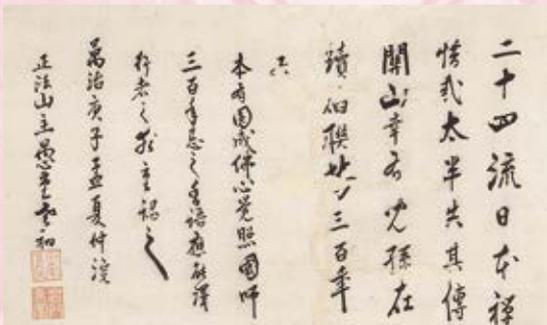
2026(令和8)年度、妙心寺二世・授翁宗弼(興祖微妙大師、1296~1380)の650年遠諱を迎えます。授翁宗弼は妙心寺開山・関山慧玄(無相大師、1277~1360)の法を嗣ついだ唯一の弟子として、その法灯を堅持しました。当館ではこの度の遠諱を記念し、授翁宗弼の足跡や由緒寺院、さらに妙心寺の歴史と文化財を紹介する展覧会を3回シリーズにて開催いたします。

その初回となる本展覧会「揮灑—近世妙心寺の禅匠—」では、近世初頭において授翁宗弼の由緒寺院を中興した愚堂東楚(1577~1661)・雲居希膺(1582~1659)に加え、二師とともに禅宗における正法復興(本来あるべき臨濟禅の教えに戻ろうとする動きのこと)を志した大愚宗築(1584~1669)の遺墨を紹介しします。さらに、近世中期において関山禅を確固たるものとし、「臨濟禅中興の祖」と称えられている白隠慧鶴(1685~1768)や、その門下の傑僧たちの遺墨もあわせて展覧します。

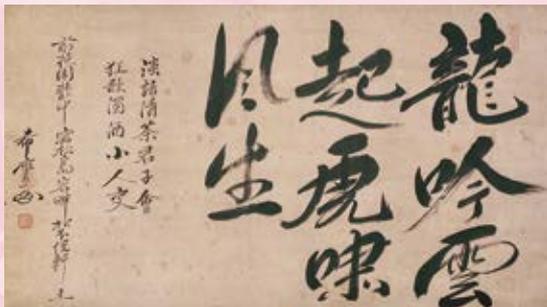
近世妙心寺の禅匠の揮灑を通じて、その禅風と教えに触れていただくとともに、祖師方の遺墨の魅力をご堪能いただけましたら幸いです。



3



6



7

関西地方の妙心寺派寺院に伝来する
近世の禅画と墨蹟



5



2

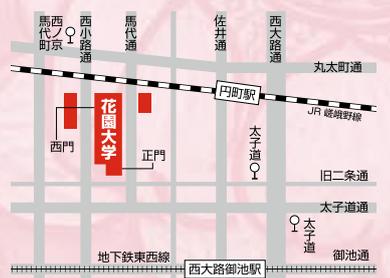


4



8

Teachings in Ink
Monks of the Early Modern Period



(交通案内) ●京都市駅より/JR嵯峨野線「円町駅」下車徒歩8分、市バス26-205「太子道」下車徒歩8分 ●京阪三条駅より/京都市バス62-63-65-66「西ノ京馬代町」下車徒歩2分、地下鉄東西線「西大路御池駅」下車徒歩12分 ●阪急西院駅より/市バス26-27-特27-91-202-203-205「太子道」下車徒歩8分 ※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

花園大学歴史博物館 (無聖館4階)

- 1 白隠自画像 白隠慧鶴自画像 江戸時代・明和4年(1767) 龍澤寺(静岡県三島市) 【2期】
- 2 墨蹟「神農大明神 少彦名大神宮 薬師瑠璃光如来」東嶺圓慈筆 江戸時代(18世紀) 龍澤寺(静岡県三島市) 【2期】
- 3 墨蹟「喝」東嶺圓慈筆 江戸時代(18世紀) 江國寺(大阪府大阪市) 【1期】
- 4 布袋図 峨山慈棹賛・加藤文麗筆 江戸時代・明和5年(1768) 麟祥院(東京都文京区) 【1期】
- 5 釈迦図(釈迦三尊図のうち) 遂翁元盧筆 江戸時代(18世紀) 寒山寺(大阪府箕面市) 【3期】
- 6 墨蹟 関山三百年諱香語 愚堂東楚筆 江戸時代・万治3年(1660) 隣華院(京都府京都市) 【3期】
- 7 墨蹟「龍吟雲起 虎嘯風生」雲居希膺筆 江戸時代(17世紀) 本源寺(大阪府茨木市) 【2期】
- 8 墨蹟「吹毛劍」大愚宗築筆 江戸時代(17世紀) 南泉寺(東京都荒川区) 【1期】